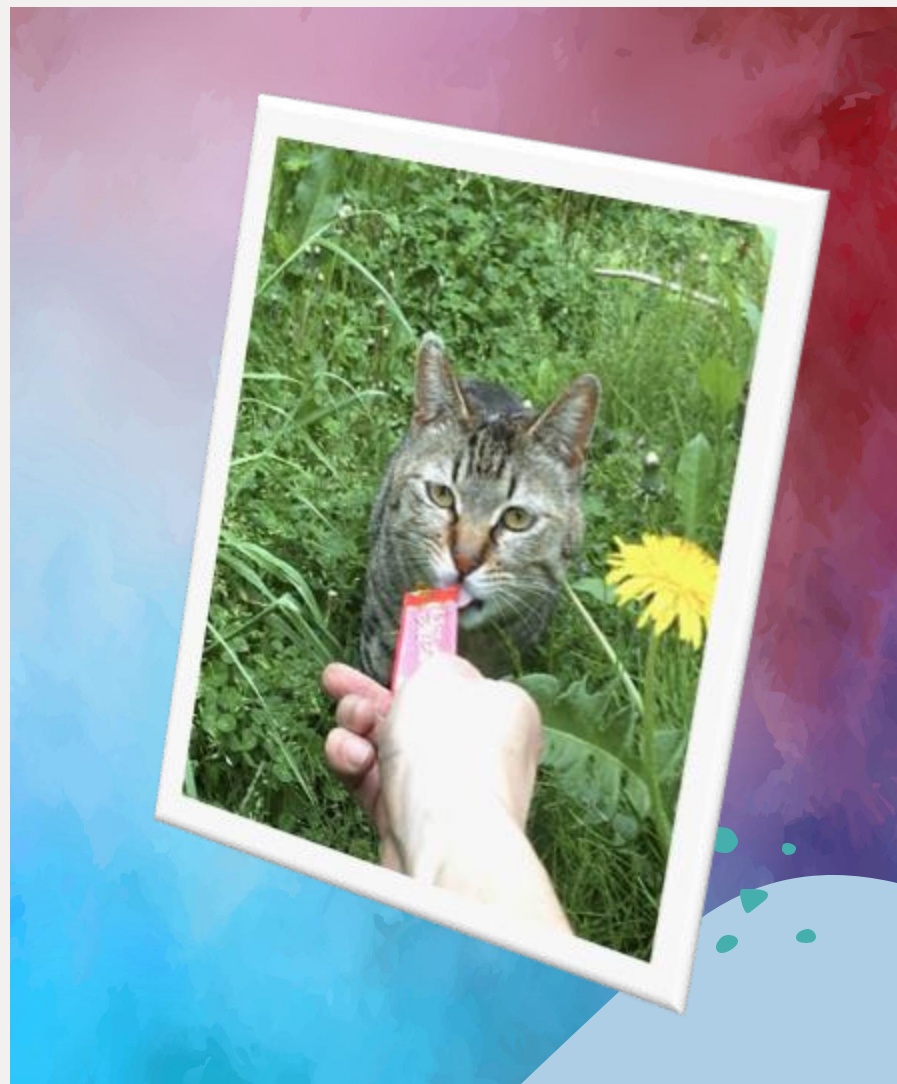


野良猫への 餌やりについて



特定非営利活動法人
猫のシェルターアリエル



～これからお話しする内容～

- ・なぜ、野良猫に餌をあげるのか？
- ・餌やりで何が起こるのか？
- ・猫の繁殖力についてのおさらい
- ・餌やりで起こる問題への対応策
- ・プロの餌やり心得 ～餌やり最低限のルール～
- ・未来に向かって

なぜ、のら猫に餌をあげるのか？

～餌やりさんの心理とは～

「かわいそうだから」 ★慈愛の女神タイプ

- ・（きっと）お腹を空かせていてかわいそうだから
- ・小さな子猫は餌をあげないと（死んじゃうかもしれないので）心配だから

「懐いてかわいい」 ★動物大好きタイプ

- ・近くまで寄ってきてかわいいから
- ・懐いているから、今日も餌を持って会いにいこう

「自分が面倒をみなければ」 ★責任感強めタイプ

- ・小さな子猫だから自分が面倒をみてあげないと（死んじゃうかもしれない）

「何かの縁」 ★運命の出会いタイプ

- ・ここでお前と出会ったのも何かの縁だし、面倒みてやるか！

「家では飼えないから」 ★やむにやまれぬ事情タイプ

- ・ペット不可の家に住んでいるので飼えないけど、猫は好きだから
- ・先住の猫が居るので、外で面倒みるだけなら



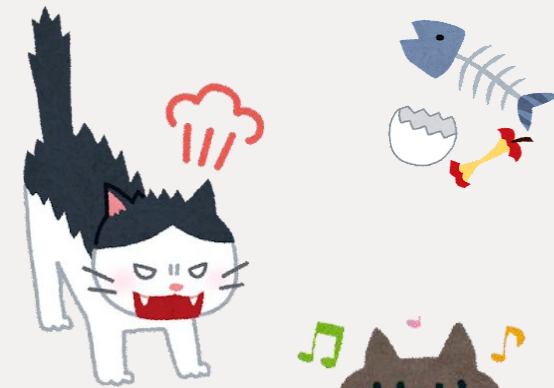
餌やりで何が起これるのか？

のら猫に餌をやると何が起これるのか？

→ 餌を目当てに、**猫が集まる**

猫が集まると、何が起これるのか？

- ①繁殖の機会が増える
- ②猫同士の接触（ケンカ、グルーミング）
- ③猫以外の動物が集まる（カラス、キツネ、ネズミ、etc）
- ④餌やり場近隣での糞尿問題（食べたら出る）
- ⑤鳴き声による騒音（さかり声、唸り声、ケンカ）
- ⑥放置された容器やごみの散乱



ここで、

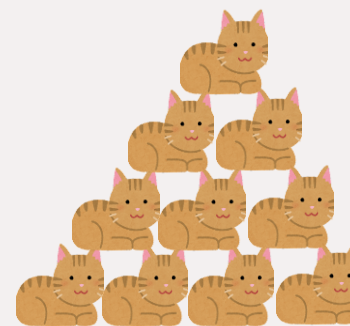
猫の繁殖力についてのおさらい

「不妊・去勢手術がされていないノラ猫（および外飼い猫）は、自然繁殖による個体数の増加を招きます。（猫は1回の出産で4～8頭の子猫を生み、1年に2～4回の出産が可能のため、1頭の猫が1年間で20頭以上に増えることも考えられます。）」

※猫のシェルターアリエルHPより抜粋

例えば、餌やり場に集まる猫のうち3匹がメス猫だった場合

- ・ 年1回それぞれが4匹を出産すると、生まれる子猫は全部で **12匹**
- ・ 年2回それぞれが4匹を出産すると、生まれる子猫は全部で **24匹**



動きの遅い子猫たちは、カラスやキツネに真っ先に狙われます。

また体力の無い子猫たちには、氷点下10°Cを下回る北海道の越冬は大変厳しいものとなります。

【再考】

餌やりで（猫側に）何が起こるのか？

のら猫に餌をやると何が起こるのか？

→ 餌を目当てに、猫が集まる
猫が集まると、何が起こるのか？

①繁殖の機会が増える

→繁殖・出産

→越冬できない、外敵被害、交通事故・・・失われる命が増える

②猫同士の接触（ケンカ、グルーミング）

→感染症拡大・・・失われる命が増える

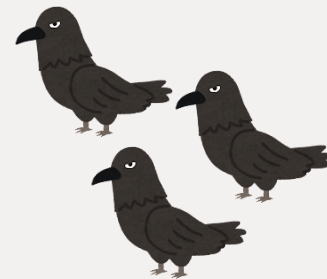
（猫伝染性腹膜炎、パルボウイルス感染症など、致死性の感染症があります。）

③猫以外の動物が集まる（カラス、キツネ、etc）。。。近隣迷惑

④餌やり場近隣での糞尿問題（食べたら出る）。。。近隣迷惑

⑤鳴き声による騒音（さかり声、唸り声、ケンカ）。。。近隣迷惑

⑥放置された容器やごみの散乱。。。近隣迷惑



【再考】

餌やりで（人間側に）何が起こるのか？

のら猫に餌をやると何が起こるのか？

→ 餌を目当てに、猫が集まる
猫が集まると、何が起こるのか？

①繁殖の機会が増える

→繁殖・出産 →越冬できない、外敵被害、交通事故・・・失われる命が増える

②猫同士の接触（ケンカ、グルーミング）

→感染症拡大・・・失われる命が増える

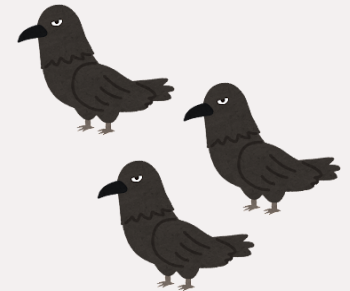
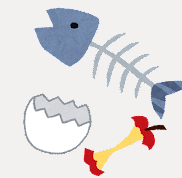
（猫伝染性腹膜炎、パルボウイルス感染症など、致死性の感染症があります。）

③猫以外の動物が集まる（カラス、キツネ、etc）・・・近隣迷惑

④餌やり場近隣での糞尿問題（食べたら出る）・・・近隣迷惑

⑤鳴き声による騒音（さかり声、唸り声、ケンカ）・・・近隣迷惑

⑥放置された容器やごみの散乱・・・近隣迷惑



「餌やりで何が起こるのか？」まとめ

餌やりで起こる問題への対応策

	餌やりで起こること	発生する問題	対応策
①	繁殖の機会が増える	失われる命が増える (越冬できない、外敵被害、交通事故、etc)	不妊対処
②	猫同士の接触 (ケンカ、グルーミング)	失われる命が増える (感染症の拡大)	★
③	猫以外の動物が集まる (カラス、キツネ、ネズミ、etc)	近隣迷惑	あと片付けの徹底
④	餌やり場近隣での糞尿問題	近隣迷惑	猫トイレの設置と手入れ
⑤	鳴き声による騒音 (さかり声、唸り声、ケンカ)	近隣迷惑	不妊対処
⑥	放置された容器やごみの散乱	近隣迷惑	あと片付けの徹底

対応策① ～STOP! 失われる命～

目の前の猫は助けたい

(↑ 餌やりさんのほぼ100%が同じ思い)

餌やりの先には、失われる命が増える現実

(↑ 餌やりさんが知らない、もしくは目を向けたくない事実)



目の前の猫は助けたい

でも、失われる命が増えるのは本末転倒

→ **不妊処置**をすることで、目の前の猫だけを助けられます

★ 「TNR」という言葉を知っていますか？



TNRとは？

「【増やさない】

外敵、環境影響および交通事故などにより失われる猫の命を少なくするためには、自然繁殖により増加する個体数を抑制することが必要です。それには、不妊・去勢処置を行うことで、確実に繁殖を抑制することができます。「保護し、不妊・去勢処置を行い、元の場所へ返す」の一連の流れを行う『TNR活動』は、ノラ猫の繁殖を抑制する取り組みのひとつです。」

※猫のシェルターアリエルHPより抜粋

【TNR活動】

- ・ Trap（トラップ）捕獲する
- ・ Neuter（ニューター）不妊手術をする
- ・ Return（リターン）元の場所に戻す

TNRされた猫たちは、再び捕獲されても開腹されることのないよう、不妊手術を済ませた猫は耳の先がV字にカットされています。耳の先が桜の花びらと似ていることから<さくらねこ>とも呼ばれています。



対応策② ～STOP! 中途半端な餌やり～

せっかく「猫助け」という良い活動も、近隣に迷惑をかけては台無し。

→周囲に迷惑をかけない「プロの餌やり」とは？



① 容器やゴミは1つ残らず持ち帰る

ゴミの始末を徹底し、餌やり容器は必ず持ち帰りましょう。
餌やり場所だけでなく、風に飛ばされるなどで近隣への迷惑がかからないように配慮が必要です。



② 餌を出しっぱなしにしない

たくさんの餌を出しっぱなしにすると、猫の食べ残しにカラスなどが集まります。

③ 餌やりは決まった時間に行う

決まった時間に猫が集まるようになることで、餌やりやトイレの管理がしやすくなります。

対応策② ～STOP! 中途半端な餌やり～

④猫トイレの設置と管理

食べたものは必ず出ます。

餌やり場や周辺地域、近隣民家の庭や畑への排泄により、糞尿による迷惑がかかります。

- ・ 餌やり場の近くに猫トイレを設置しましょう。
（食べた直後に排泄することが多いため、餌やり場近くの設置は効果的です）
- ・ 猫トイレのお手入れをしましょう。
（排泄物の後始末をして、周囲へ臭いの迷惑がかからないようご配慮ください。）

餌やりと排泄物の後始末はセットです

餌やりした猫たちが、どこかのお家の庭や畑で排泄するなんて、「迷惑行為」でしかありません。

プロフェッショナル
餌やりの流儀



「STOP! 中途半端な餌やり」まとめ

プロの餌やり心得 ～餌やり最低限のルール～

	プロの餌やりの心得	熟練度	説明
①	餌やり容器やゴミは1つ残らず持ち帰る	レベル0 (入門者)	これが出来なければ餌やりの資格なし 言うまでもなく当然のことのはずですが、実際には、餌の空き袋などゴミが散乱する現場も少なくありません。
②	餌を出しっぱなしにしない	レベル1 (入門者)	猫以外にも多くの野生動物がいます。残り物を目当てにカラスやキツネなどが集まると、近隣への大変な迷惑となります。
③	餌やりは決まった時間に行う	レベル2 (修行中)	餌やりの時間に合わせて猫達が集まるように習慣づけることで、集まる猫の把握や、猫トイレの管理がしやすくなります。
④	猫トイレの設置と管理	レベル3 (一人前)	餌やりと排泄物の後始末はセットです。 餌やりした猫たちが、どこかのお家の庭や畑で排泄するなんて、迷惑行為でしかありません。

餌やりが無責任な「迷惑行為」とならないためには、最低でもレベル3「一人前」までが必要です。

ここまでのまとめ

ここまで、以下の2点についての対応策を説明してきました。

- ・猫を助けるための「餌やり」
- ・近隣に迷惑をかけない「餌やり」

	餌やりで起こること	発生する問題	対応策
①	繁殖の機会が増える	失われる命が増える (越冬できない、外敵被害、交通事故、etc)	「対応策① ～STOP! 失われる命～」参照
②	猫同士の接触 (ケンカ、グルーミング)	失われる命が増える (感染症の拡大)	★
③	猫以外の動物が集まる (カラス、キツネ、ネズミ、etc)	近隣迷惑	「対応策② ～STOP! 中途半端な餌やり～」参照
④	餌やり場近隣での糞尿問題	近隣迷惑	「対応策② ～STOP! 中途半端な餌やり～」参照
⑤	鳴き声による騒音 (さかり声、唸り声、ケンカ)	近隣迷惑	「対応策① ～STOP! 失われる命～」参照
⑥	放置された容器やごみの散乱	近隣迷惑	「対応策② ～STOP! 中途半端な餌やり～」参照

最後に、上の②「猫同士の接触」(★印)を考えてみましょう。

対応策は？ ～STOP! 感染症拡大～

餌やりには猫たちが集まるため、猫同士の接触は避けられません。

→ケンカ、グルーミング（猫同士の毛づくろい）

その結果、**感染症の拡大**が懸念されます。

→どんな対応策があるか、一緒に考えてみましょう。

餌やり → 猫が集まる → 感染症拡大



どうすれば本当に猫のためになるのか、
一人ひとりがよく考えて、工夫して行動することで、
きっと色々な解決方法が見つかるはずです。



最後に ～未来へ向かって～

小樽は地域に暮らす野良猫が多い街です。野良猫同士の繁殖も多く、生まれた子猫たちは厳しい冬を越せなかったり、カラスやキツネなどによる捕食、交通事故や感染症により、失われる命は少なくありません。そしてこのような状況が毎年繰り返されているのが現実です。

今回テーマとした「餌やり」は、目の前の猫を地域の猫として保護（見守る）するひとつのかたちであり、そのやり方次第では命を保護することにもなり、逆に無駄な繁殖を助長すれば失う命を増やすことにもなります。

地域に暮らす野良猫の事情と餌やりの意味を理解し、本当の意味で猫を保護できる「正しい餌やり」が地域に広まることを心から願います。



野良猫への餌やりについて

～STOP! 失われる命～

～STOP! 中途半端な餌やり～

～STOP! 感染症拡大～

© 2023 Shelter Ariel Inc.

特定非営利活動法人
猫のシェルターアリエル

